

福岡市PTA協議会からの参考資料

「こども110番の家」
対応マニュアル

目 次

1. 「こども110番の家」の役割	3
(1) 「こども110番の家」の必要性	
(2) 「こども110番の家」の役割	
2. こどもたちが避難しやすい環境づくり	4
(1) こどもたちとのコミュニケーションを大切にしましょう	
(2) パネルの設置	
3. こどもが避難してきた場合の対応	5
(1) まず、自分が落ち着きましょう	
(2) こどもたちを落ち着かせましょう	
(3) 何があったのかを聞きましょう	
(4) 事件性の疑いがある場合	
① こどもから聞く内容	
② 110番通報の要領	
③ 110番通報が終わったら	
(5) 事件性の疑いがない場合	
(6) こどもたちと「5つの約束」	
(7) 活動報告	
4. 資料	
(1) 「こども110番の車」緊急通報	12
(2) 「こども110番の車」対応報告書	13

1. 「こども110番」の役割

(1) 「こども110番の家」の必要性

都市化現象や住民意識の変化に伴って、住民同士の連帯意識や相互扶助機能が低下し、地域の犯罪抑止機能が弱体化しています。

こどもを犯罪から守るためには、警察はもとより、地域住民・学校関係者・団体やボランティア等が相互に連帯し、こどもたちが安全に暮らせる環境作りを推進して、地域社会でこどもたちを守ることが必要になっています。

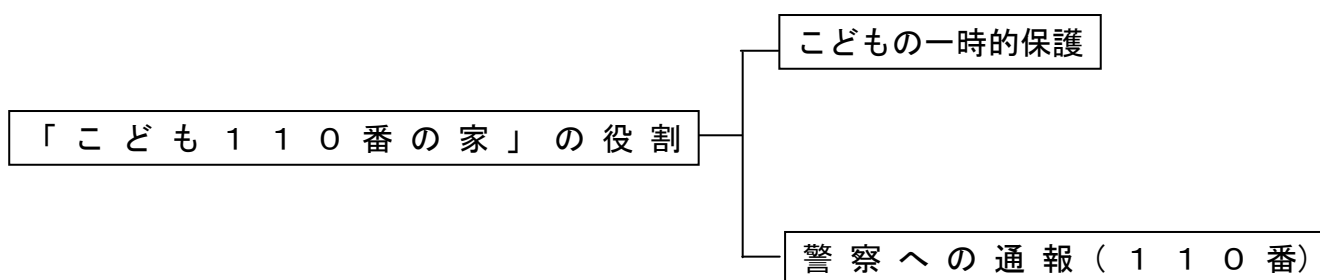
(2) 「こども110番の家」の役割

「こども110番の家」とは、こどもが犯罪等（※）の被害に遭い、又は遭いそうになり、身の危険を感じた時に、安心して助けを求めることができる「こども110番の家」として場所を提供するものです。また、そのこどもを一時的に保護し、警察への通報（110番）及び保護者等への連絡を行う役割を担っていただきます。

更にパネル設置は、校区のこどもの安全に対する地域住民の意識の強さを示し、こどもに対する犯罪への抑止力を発揮するものです。

なお、この活動は、犯人の追跡やこどもの保護等を目的としているのではなく、日常私たちが困っているこどもたちを助けるのと同じレベルでの対応を行うこととなります。

（※）犯罪等とは、犯罪に限らず、いじめや自然災害による被害も含みます。



2. こどもたちが避難しやすい環境づくり

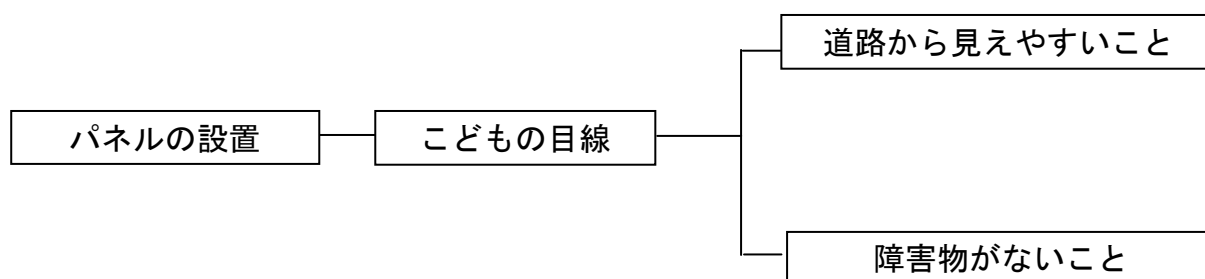
(1) こどもたちとのコミュニケーションを大切にしましょう。

こどもたちは、「知らない家に駆け込みにくい。」という気持ちを持っています。このような気持ちはこどもに限らず、おとなも同じです。

登下校などでこどもの姿を見かけたら、「おはよう、こんにちは、気をつけて帰るんだよ。」と気軽に声をかけてみましょう。こどもたちと顔を合わすごとに、コミュニケーションが増えてくるはずです。

(2) パネルの設置

校区の戸建てや店舗等にパネルを設置し、こどもたちを保護できる環境をつくるとともに、こどもに対する犯罪の抑止力（パトロール効果）を発揮します。



(3) 通路の確保

危険に遭遇したこどもたちは、恐怖心から逃れたい一身で駆け込んでいきます。外部からこどもたちが駆け込む通路に危険な物等が放置されていないか常に点検してください。

また、登下校時間帯は、こどもたちが駆け込みやすいよう、配慮することもお願いいたします。

3. こどもたちが避難してきた場合の対応

(1) まず、自分が落ち着きましょう。

こどもたちが避難してきた場合に、話を聞く皆さんが慌てたり、興奮してしまうと、こどもたちは、ますます興奮してしまいます。

まずは、皆さんが落ち着いて、何があったのかこどもたちから話を聞いてください。

(2) こどもたちを落ち着かせましょう。

避難してきたこどもたちは、危険な場面に遭遇し興奮しています。

こどもたちに「もう大丈夫だよ！」と優しい言葉をかけて落ち着かせてください。

(3) 何があったのかを聞きましょう。

どうして避難してきたのか確認してください。

- 知らない人に声をかけられたり、付きまとわれたのか。
- ちかんの被害に遭ったのか。
- 病気で我慢できないのか。
- トイレや電話などの施設を借りに来たのか。

こどもたちの話をよく聞いてあげましょう。

いずれの場合でも、警察や家族などがすぐに来ることを説明し、こどもたちを安心させてあげることが大切です。

(4) 事件の疑いがある場合

◆ こどもから聞く内容

こどもたちが、

- 知らない人に声をかけられた、付きまとわれた。
- 車に乗せられそうになった、追いかけられた。
- ちかんの被害に遭った。

などの事件の疑いがある場合は、すぐに110番通報してください。

こどもから聞く内容	
事件内容	何があったか。
日時、場所	いつ、どこで（目標物は）
犯人の特徴	年齢、身長、体格、頭髪、顔の輪郭、服装 凶器の有無など
車の特徴	車種、ナンバー、色
逃走方向	犯人が逃げた方向
こどもの住所	住所、名前、保護者の名前、学校、学年、連絡先

◆ 110番通報の要領

あせらず落ち着いて、警察官の質問に答えてください。警察官があなたからお聞きする内容は、おおむね上記表のとおりです。

警察官に「こども110番の家」であることを伝え、あなたの住所、名前、電話番号を話してください。

◆ 110番通報が終わったら

110番通報が終わっても警察官が到着するまで、こどもたちを保護してください。こどもたちから警察官が、直接話を聞きます。

◆保護者・学校への連絡も忘れずにお願いします。

(5) 事件の疑いがない場合

◆ 思いやりを持って子どもたちに接しましょう。

子どもたちが、

- みずをのませて
- トイレを貸して
- お腹が痛い
- 自転車がパンクした
- 電話を貸して
- 雨が降り出してやむまでまたせて、雷が怖い

と駆け込んでくるなど、事件でない場合でも思いやりを持って接してください。

◆ 具体的な行動をとりましょう。

状況によっては、

- 一時的に場所を提供
- 保護者、学校などへの連絡
- 救急車の手配

など具体的に行動し、問題を解決してあげましょう。

(6) こどもたちと5つの約束

こどもたちの安全のために、こどもと「5つの約束」をしましょう。

1. 知らない人について行かない。
2. 誰かに連れて行かれそうになったら、
“たすけて！！”
と大声でさけぶ。
3. 一人では遊ばない。
4. 遊びに行く時は、
“どこで ・ 誰と”
遊ぶかを言ってから出かける。
5. 友達が知らない人に連れて行かれそうになったら、大声で叫ぶ。

環境の再点検をお願いします。

こどもたちが、犯罪や事故に遭いやすそうな場所はありませんか。

地域の環境を再点検してみましよう。

(7) 対応の報告

「こども110番の家」により上記対応を行った場合は、速やかに校区の〇〇小学校に報告してください。

4. 資料

「こども110番の家」緊急通報

通報先 110番	
通報内容	
1 こちらは	『こども110番の家』の〇〇〇」です。
2 住所は	福岡市 〇〇町〇丁目〇番〇号です。 目印は〇〇です。
3 電話番号は	092-〇〇〇-〇〇〇〇です。
4 用件は	今、子どもを、保護しています。 至急、来てください。
5 内容は	① 不審者がついてきた ② 不審な車がついてきた ③ 変質者がいた ④ 連れ去られそうになった ⑤ その他

「こども110番の家」対応報告書

報告者	氏名：
-----	-----

住所	電話
----	----

①いつ	
②どこで	
③だれが	
④どうした	

※該当項目に☑チェックをお願いします。

事件・事故の疑い

- ↓
- 声をかけられた
 - 車に乗せられそうになった
 - 追いかけられた
 - ちかんにあった
 - 友人が被害にあった など
 - その他 ()

事件・事故ではない困りごと

- ↓
- 道を迷った
 - けがをした
 - お腹が痛い
 - 電話をかけてほしい
 - 迷子をみつけた
 - その他 ()

警察に通報・連絡

- ↓
- 通報した
 - 通報しなかった
(理由)

状況に応じた措置

- ↓
- 落ち着く場所の提供した
 - 家庭、学校などに連絡した
 - けがや病気の手当てをした
 - 状況により 110 番・119 番に通報した
 - その他 ()

通報後の対応

- ↓
- 警察の指示を待った。
 - 警察官が着くまで保護した
 - 家庭、学校などに連絡した
 - 犯人の有無を確認した
 - その他 ()

この用紙は校区の〇〇小学校にFAX又は郵送にて報告をお願い致します

FAX：092-(〇〇〇)〇〇〇〇

住所：

